

仙南けやき教室便り

⑤

「子どもを見守る」って？ 続き

子どもの状態を受け入れていくには？

それは日常の小さな積み重ねで、どれも一歩ずつです。

・「おはよう」「おやすみ」の言葉を掛けます。

→ 返事がなくても気にしない！

「あなたがどんな状態でも、大丈夫よ。」のメッセージ。

・おやつは必ず誘う。

→ すぐに一緒に食べなくても構わない。「あなたの分もあるよ。」のメッセージ。

食べてくれたら、うれしいですよ。

・ちょっとしたことを「頼んでみる」

→ 「洗濯を取り込む」「たたむ」「お風呂掃除」「料理」「食器を洗う」「留守番」など。

やってくれたら「ありがとう！助かったよ。」の言葉を添えて。

ここには

「あなたがどんな状態でも、大切な家族の一員だよ。」というメッセージが込められています。

この「小さな声掛け」が重なって「子どもを見守る心」に繋がっていくでしょう。

必ず子どもに届いていきます。

「あなたはここにいていいんだよ」と。

最近のけやき教室

例年春は、けやき教室に訪問者が多い！！

この4月に高校進学した生徒。

高校を無事に進級した生徒。

高校を卒業して、就職、進学した生徒。

けやき教室に通っていた頃の姿からは、

想像できないほど。

みんな 顔を上げて生きている！

